

2016年(平成28年)3月吉日
日本化粧品技術者会
会長 島谷 庸一

平成28年度(第56回) SCCJ 総会のご案内

拝啓

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成28年度「第56回 SCCJ 総会」の開催についてご案内させていただきます。偶数年の今回は宿泊を伴う総会となります。ご多忙の折、恐縮ではございますが、ご出席頂きますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- 1. 開催日** 2016年5月27日(金)～28日(土)
- 2. 会場** 千葉県南房総 勝浦ホテル三日月
〒299-5225 千葉県勝浦市墨名820 / TEL:0470-73-1111
(※ 全室禁煙。喫煙は所定の場所をご利用ください)
- 3. スケジュール** 5月27日(金)
 - 13:15～ 受付開始 2階 玄関フロント
 - 14:00～15:00 講演会 1階 コンベンションホール『観月』
「環境DNAを利用した
魚類多様性モニタリング技術の開発」
千葉県立中央博物館 宮 正樹 先生
 - 15:20～16:50 総会 1階 コンベンションホール『観月』
 - 16:50～18:00 休憩時間
 - 18:00～20:00 懇親会 3階 宴会場『乙姫』
- 4. 申込** 5月10日(火)(消印有効)までに同封の返信用ハガキにてお申込み下さい。
※ ご欠席の方は、委任状欄へ署名捺印の上、ご返送下さい。
- 5. 参加費** 25,000円
(往復の交通費は含まれません。会員(代理を含む)の講演会・総会への参加は無料です)
※ 5月17日(火)までに下記の口座へお振込みください。なお、請求書は発行いたしません。また、振込手数料はご負担下さいますようお願いいたします。

みずほ銀行 銀座支店 普通 1797932
日本化粧品技術者会 代表 <small>しぎはら やすひろ</small> 嶋原 靖宏

※ 複数人分の参加費をまとめてお振込みされる場合は、事務局(本部)まで FAX(045-590-6093)にてご連絡下さい。

6. キャンセルについて

キャンセルは、**5月17日(火)まで**にお申し出下さい。

※ 所属企業名、会員名、返金先口座を事務局(本部)までFAX(045-590-6093)にてご連絡下さい。

※ 5月18日(水)以降のキャンセルについては、ご返金できません。

7. お問い合わせ先

●日本化粧品技術者会 事務局(本部) TEL:045-590-6025 FAX:045-590-6093
〒224-8558 横浜市都筑区早渕2-2-1 (株)資生堂 リサーチセンター内

●日本化粧品技術者会 事務局(東京) TEL:03-6431-9196 FAX:03-6431-9126
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-11-1 アイオス五反田駅前7F-705

●日本化粧品技術者会 事務局(大阪) TEL:06-6231-3459 FAX:06-6231-5769
〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-11 岩瀬コスファ(株)内

8. その他

【5月28日(土)の視察について】

※ 視察先は受入れ先の都合で2コースとなります。コース希望をお取りしますが、一方に多数の申し込みが集中した場合は、抽選とさせていただきます。

●Aコース :

ホテル三日月(9:00出発) → 千葉県立中央博物館大多喜城分館(見学)
→ 小湊鉄道・乗車体験(車両貸切)(上総中野駅10:47発 → 五井駅11:58着)
→ ザ・フィッシュ(ご昼食) → 海ほたる → 品川駅(16:15頃解散)

●Bコース :

ホテル三日月(9:00出発) → 勝浦海中公園・海の博物館(見学)
→ おおつ花俱樂部・とみうら枇杷俱樂部(花摘み・びわ狩り体験)
→ ザ・フィッシュ(ご昼食) → 海ほたる → 品川駅(16:15頃解散)

【講演会】「環境DNAを利用した魚類多様性モニタリング技術の開発」

千葉県立中央博物館 動物学研究科 主席研究員(兼)科長 宮 正樹 先生

海や川に生息する魚の種類を調べるには、水中に潜って魚を観察したり網などの漁具を使って魚をとったりなど、大きな労力と費用がかかる上に長期間にわたる調査が必要でした。さらに、日本に生息が確認されている魚だけでも4,000種以上いるため、目視や標本の観察によって魚の種類を決めるためには、高度に専門的な知識と経験が必要でした。

一方、糞や粘液を通じて魚から放出されたDNAが水中をただよっていることが近年の研究で明らかになり、「環境DNA」と呼ばれて大きな注目を集めています。現在、DNAは商品のバーコードのように簡単に読み取ることができ、しかも読み取った情報(DNAの塩基配列)から魚の種類がわかります。環境DNAには特定の魚のDNAだけでなく、多様な魚のDNAが含まれています。これらを同時並行的に分析する技術を開発すれば、今まで労力や時間や費用の点から困難だった魚類多様性のモニタリングが水を汲むだけで可能になります。

環境中のDNAをまとめて分析して生物の種類を判定する技術は「メタバーコーディング」と呼ばれており、今回のご講演では、世界に先駆けて開発した「魚類メタバーコーディング」の技術とその可能性について紹介させていただきます。